



市立病院は 市立のままがいい

だれでも、いつでも、安心して
必要な医療を受けられるために

「お金がなくて病院に行けない。」「保険料が高すぎて払えない。」

「入院したら働けなくなるから、なんとか通院で治せないですか？」

たび重なる医療・社会保障の改悪や、雇用の不安定化などによって「貧困と格差」が広がり、医療を受ける必要があるのに経済的な理由で受けられない人が増えています。

だれにでも平等に大切な「いのちと健康」にまで格差が生じていいはずはありません。

こんなときこそ、「公正・公平な医療の提供」「地域住民の健康の維持・増進」を使命とする自治体病院が、その役割を発揮するときです。

市立病院が京都市から“独立”？

京都市は、京都市立病院と市立京北病院の2病院を、2011年度から「地方独立行政法人」に移行することを柱とする「京都市病院事業改革プラン」を策定しました。

「自律的・弹力的な病院経営」を実現するため、としていますが、本当にこれで市民の「いのちと健康」を守る責任を果たせるのでしょうか？



市立病院は市立のままで充実させる市民の会

地方独立行政法人

VS 京都市直営

「地方独立行政法人」になつたら
病院はどうなる？

2006年から独立行政法人化された
大阪府立5病院では…

非紹介患者の初診料 1.5倍
1,701円→2,625円

セカンド
オピニオン料
約2倍
7,400円(30分)
→21,000円(45分)

分娩料 約1.6倍
93,000円→150,000円
(母子保健総合医療センター)

駐車料金
完全有料化

「地方独立行政法人」とは…自治体から切り離し、公的責任より採算を最優先

2003年7月の国会で成立した「地方独立行政法人法」という法律で、公立の病院や大学などを自治体の直営からはずし、「法人」として運営できるようになりました。

そのねらいは、ひとつは施設の運営を独立採算にして効率化を徹底し、自治体の財政支出を減らすこと、もうひとつは職員の定数削減を図ることです。その結果、住民・利用者(患者)には利用料等の負担増を、職員には過密労働や雇用の不安定などをもたらすおそれがあります。

Voice 患者さんにも職員にも負担が

大阪府立成人病センター 看護師 日名 廣江さん

法人に移行して3年になります。「中期目標」として5年間で64.8億円の累積赤字を解消することがうたわれ、在院日数の短縮や病床利用率アップで採算をあげることが至上命題となりました。そんななか現場では「目標に追われて息つく暇もない」「医療事故が起きそうで恐い。その前にやめたい」など、医療・看護の安全ややりがいが損なわれています。看護師の退職者数は5病院で200名を超えて毎月募集しても必要な看護師の数が確保できない状況です。

患者さんからのアンケートで「以前とくらべ看護師さんが忙しそうで、声がかけづらくなつた」との声が寄せられ、切ない思いでいっぱいです。評価委員会からも「府民は病院の借金をゼロにするより、安心できる医療をのぞんでいるのではないか」と意見が出ています。



市立病院では、感染症医療や救急医療、大規模災害時の対応体制や小児の骨髄移植など民間の医療機関では取り組みにくい「不採算」といわれる分野の医療をない、「だれでもいつでも安心して医療が受けられる病院」として規範となる医療・看護をになってきました。

また、他の医療機関では受け入れが困難な患者さんを受け入れる「最後の砦」としての役割を果たしています。

市立病院がこうした立場で医療の公共性を発揮できるのは、「住民のいのちと健康を守る」責任をもつ自治体が直接運営している病院だからこそです。



市民のいのちと健康を 守る病院はどっち？

京都市の「病院事業改革プラン」では、病院が地方独立行政法人になっても政策医療の機能が果たせるのでしょうか？ 黒字を出すことよりも市民のいのちと健康を守ることが大事なのであれば、独立行政法人に移行させる必要はありません。

政負担を減らすことが明記され、また、2011年度には6億9千万円の黒字を上げることを目標に掲げています。

これで本当に自治体病院として安全安心の医療提供や政策医療の機能が果たせるのでしょうか？ 黒字を出すことよりも市民のいのちと健康を守ることが大事なのであれば、独立行政法人に移行させる必要はありません。

Voice

一番大切な健康に使われる税金なら、誰も不平に思う人はいないと思います。
(女性、50歳代)

いま全国の自治体病院では…国が「公立病院改革ガイドライン」を自治体に押しつけ

自治体病院は全国に約1千ありますが、その多くが赤字経営となっています。この背景には、診療報酬の引き下げや政府の低医療費政策などに加え、不採算医療を担っていることに対する国の財政措置が削減されてきていることも影響しています。

こうしたなか政府・総務省は2007年12月に「公立病院改革ガイドライン」を策定し、自治体に対し「病院改革プラン」をつくるよう求めています。

Q.市立病院のあり方に対して、
要望をお聞かせください
(市職労病院支部・医療要求アンケートより)



急病やけがの時、
すぐに診てもらえる

32.9%

高度で最新の
医療が受けられる

19.7%

気軽に相談できる

13.3%

市民の京都市立病院への期待・不満は？！

2007年10月～12月に市職労病院支部が取り組んだ医療要求アンケートに800人以上の市民から回答が寄せられました。

救急医療の充実など期待の声とともに、「待ち時間が長い」「態度・対応の悪さ」など不満の声も寄せられています。

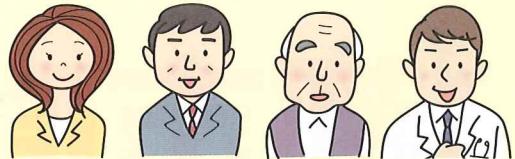
患者・市民から寄せられた率直な声をふまえ、病院職員が一丸となって改善にむけた努力をすることが求められます。

また、待ち時間が長くなる要因には、患者数に見合う医師の数が不足していることがあります。全国的な医師・看護師不足を解消するために、国や自治体に声を上げて要請していくことが必要です。



今まで これからも

市民のみなさんからの Voice



VOICE

大人と混合の小児病棟もある中で、市立病院は子どもだけの病棟なので、安心して入院し治療ができました。これからも京都市の病院として、子どもが急に体調をくずした時など、いざと言う時に安心してかかる病院であり続けてほしいです。患者負担が増えるようなことは困ります。

(右京区・和田 有紀子さん)

VOICE

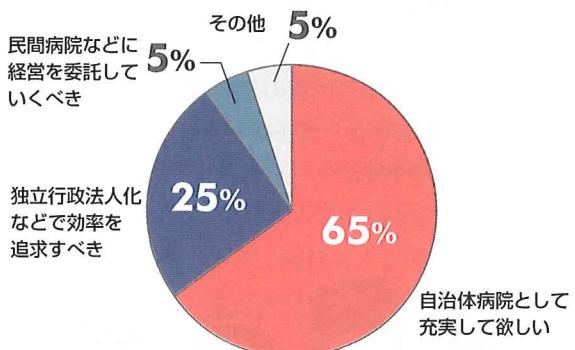
大きな手術を含め3回も入院した患者としては、市立病院がなぜ京都市から「独立」しなければならないのか大きな疑問です。京都市は市立病院を切り離さないで、もっと市民が安心して受けられる地域医療をすすめてほしいと思います。

(中京区・北山 善敬さん)

開業医のみなさんの市立病院への要求アンケート結果

「開業医のみなさんの市立病院への要求アンケート(2005年)」では、自治体病院としての充実を望む声が65%を占めたのに対し、独立行政法人化を求める声は25%でした。また、救急医療、小児救急、開業医との連携の充実などを求める意見が多く寄せられました。

●市立病院の将来について



あなたにお願いしたい3つのこと。

- 1 署名を集めてください。
- 2 ホームページなどで情報を知ってください。
- 3 市立病院を考えるミニ学習会をたくさん開いてください。



市立病院は市立のままで充実させる市民の会

よりかけ人 岡田楯彦(岡田小児科内科医院・院長) / 大林 稔(朱八曙長寿会第5老人クラブ会長) / 畑 宏治(西新道商店街錦会専務理事)
よりかけ団体 京都総評 / 京都自治労連 / 京都市職員労働組合 / 京都社会保障推進協議会 / 中京社会保障推進協議会 / 中京地区労働組合協議会 / 西右京地区労働組合協議会



<http://www.hp-shiritu.com/>

市立のままで

検索

〒 604 - 8874 京都市中京区壬生天池町 22-3 中京社会保障推進協議会内 Tel./Fax. 812 - 5002

市立だからこそ、になうべき医療があります。

地域の民間医療機関が、
ないきれない医療を支えるのが
市立病院の役割です。

高い医療費や廃院に つる不安

「医療に求めるこ」の50%以上が
医療費・国保料など経済的負担の軽
減です(市職労病院支部2007年アンケート
結果より)。小児救急や産婦人科が不採
算医療や医師不足で地域から消えて
いっています。

自治体病院でないと できないことがある

本来医療は公的な仕事であり、す
べての医療機関は、いのちと健康を
守るという仕事をになっています。

そのなかで、市立病院の役割は、
全ての住民が、平等に必要な医療を
受けられるように対応すること。厳
しい経営環境の中で努力している
民間病院では、ないににくい医療を提
供することです。

これまで、“市立”の病院として市
が責任を持ち、財政支出がされてき
たからこそ、してきた医療活動が
あります。



公的医療の充実と
市立病院を市立のままで充実させることを
求める要請署名にご協力ください。

市立病院がおこなって いる医療活動



新型インフルエンザの8割に対応

新型インフルエンザ対応は①お金がかかる②人手もかかる③結果、収入が減るものでした。5月は約1億円の赤字になったのです。それでも、市立病院は市内発熱外来患者の8割を受け入れ、現在多くの入院患者に対応しています。職員は、市立病院が掲げる理念・憲章を公務員として守るべきと考えて激務をこなし、市が責任を持つ自治体病院だからこそできた対応です。

小児救急24時間対応。 小児科医が毎日当直

小児救急の24時間対応は市内では市立病院だけ。京都府の新生児搬送システムの一翼として未熟児・新生児医療にもとりくんでいます。また小児骨髄移植にも先駆的にとりくみました。

医療費が払えない患者さんも
一切り持てない

一人暮らしの老人がご近所の通報で市立病院に搬送され、脳出血で緊急手術。命は助かりましたが保険証がなく、治療費は約100万円。医療相談室で分割払いの手続きをしました。

最近は身元不明で重
症化した方の受け入
れが増えています。



重症の結核や透析…

地域医療機関の要望に対応
重症の結核患者が増えています。手
術直後や、透析が必要で受け入れの
難しい患者さんも、施設や医療機関
からの要請があれば受け入れます。



誰にでも安心・安全の医療を!!

どんな患者さんも 七刀には捨てない!

公的医療の充実と市立病院を市立のままで
充実させることを求める要請署名

京都市長
門川 大作 様



年 月 日

【要請事項】

1. 市立病院を地方独立行政法人化せず、市立のままで充実させてください。
2. 医療行政を後退させず、市民のいのちと健康を守る責任を果たしてください。

京都市は、市立病院を市から切りはなして地方独立行政法人に移行することを柱とする改革プランを策定しました。しかし、市の責任を後退させ、経営効率を最優先させる独立行政法人化によって、はたして感染症医療など政策医療は守られるのでしょうか。市立病院は市立のままで充実させるべきです。

京都市は、住民が健康で安心して暮らせるために、いつでも誰でも医療が受けられる公的医療を推進する責任があります。そのために市の財政を見直して医療行政を充実させるとともに、国に対して医療・社会保障予算の増額を求めるなどの手立てを講じてください。

氏 名	住 所

*本署名にて収集した個人情報はその用途以外には使用しません。

【取り扱い団体・連絡先】

市立病院は市立のままで充実させる市民の会

〒604-8874 京都市中京区壬生天池町22-3 中京社会保障推進協議会内

Tel : 075-496-9510・Fax: 075-812-5002 [市立のままで] [検索]